

2010

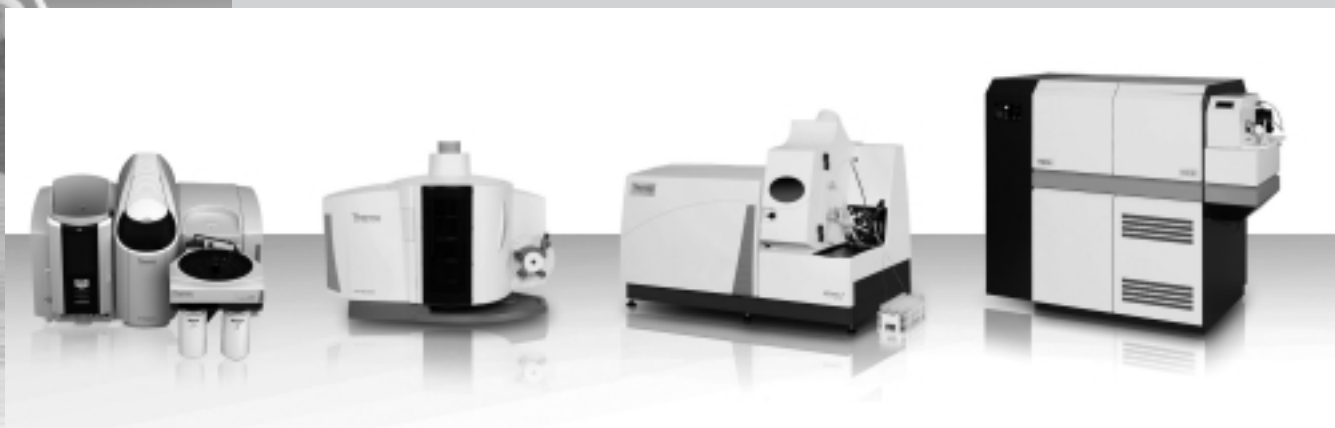
## Elemental Seminar 2010

### サーモフィッシャーサイエンティフィック エレメンタルセミナー 2010 のご案内

**東京会場** 5月27日(木) 御殿山ガーデン ホテルラフォーレ東京

**大阪会場** 6月 1日(火) 千里ライフサイエンスセンター

●開会 13:00 (受付開始 12:30 ~) ●技術交流会 18:00 ~



#### エレメンタルセミナーのご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

毎年ご好評をいただいております「エレメンタルセミナー2010」をご案内申し上げます。今年の招待講演では、例年リクエストの多い試料の前処理に関する内容や、分析の精度管理や信頼性、生体試料の微量元素分析に関するテーマを取り上げました。その他、当社アプリケーション部や工場スタッフによる最新技術情報や、周辺機器メーカー様によるポスター発表や展示など、多彩なプログラムを準備しております。無機元素分析に携わる皆様にとって有用な情報収集・交流の場となれば幸いです。

ご多忙とは存じますが、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

敬具

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

エレメンタル営業部

加藤 泰彦

# プログラム

13:00～13:10

開会のあいさつ

13:10～13:55

招待講演 1 (東京会場)

## 「分析の精度管理と信頼性確保」

最近では、信頼ある分析値を得るために、標準物質の使用や技能試験への参加、妥当性確保や不確かさといったことが重要となってきています。本講演では、トレーサビリティ、不確かさの概要について紹介し、分析の精度管理に役立つ標準物質の役割、信頼性ある分析を行うためのポイントなどについて紹介します。

独立行政法人産業技術総合研究所 計測標準研究部門無機分析科  
成川 知弘 様

招待講演 1 (大阪会場)

## 「ICP 発光分析装置による生体微量元素分析」

微量元素とはミネラルのうち、生体内含有量が鉄より低い元素のことです。しかし、そのほとんどは分析方法が確立されておらず生体濃度の参考値の報告もあまりありません。通常は $\mu\text{g/L}$  (ppb) レベルの測定となるため高感度で再現性の高い分析方法が必要で、ICP 発光プラズマ分析法は有力な分析方法の一つです。

大阪医科大学 衛生学・公衆衛生学教室  
臼田 寛 准教授

13:55～14:35

## 「元素分析レベルアップ☆誤分析の要因と解決のテクニク」

元素分析でうっかり陥りがちな誤分析の実例を挙げながら、その原因や対策についてわかりやすく説明します。自信を持ってデータを出すためのコツや、誤分析を減らすために役立つヒントをお教えします。

サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)  
アプリケーション部 エレメンタルグループ

14:35～14:55

製品紹介、営業部からのお知らせ

サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)  
エレメンタル営業部

14:55～15:40

ポスターセッション、展示 (コーヒープレーク) ※詳細については次ページをご覧ください。

15:40～16:25

招待講演 2 (東京・大阪会場共通)

## 「原子スペクトル分析のための試料前処理 – 溶液化の悩みと醍醐味 –」

原子スペクトル分析 (AAS、ICP-AES、ICP-MS など) では、固体試料については多くの場合、溶液化の前処理を必要とします。本講演では、原子スペクトル分析を行うための前処理として行う、湿式処理 (開放系、密閉系) および乾式処理の特徴や注意点などについて、容器、試薬、処理環境などの観点も含め紹介します。

株式会社東レリサーチセンター 無機分析化学研究部  
飯田 豊 様

16:25～17:05

## 「ここまでできる! ICP-MS の分析時間とコストを半減する SC-FAST システム」

生産性を向上する SC-FAST システムを組み合わせた ICP-MS による分析時間・ランニングコストの削減実例をご紹介します。高マトリックス試料を希釈せずに導入することも可能で、装置の汚染やメンテナンス頻度も大幅に低減できます。

サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)  
アプリケーション部 エレメンタルグループ

17:05～17:50

## 「高分解能 ICP-MS の最新技術情報と各国の ICP-MS アプリケーション例の紹介」

感度 50 倍アップを実現した ELEMENT の新しいインターフェースシステムをはじめとした最新技術情報、および X シリーズ 2 ICP-MS の各国でのアプリケーション例を紹介します。

Thermo Fisher Scientific  
Germany (プレーメン工場)

17:50～18:00

質疑応答

18:00～

技術交流会 (無料)

## ポスターセッション 14:55 ~ 15:40

ポスターは両会場(東京・大阪)で掲示します

※発表内容は変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

	発表者	タイトル
1	株式会社アイス 小林 理朗 様 *同時展示製品あり	「オンライン自動標準液添加装置 ASAS の紹介」 オンラインで標準液(内標準、検量線用標準液など)の調製および添加を行うことができる自動標準液添加装置を紹介いたします。ICP装置の試料導入ラインに直接標準液を添加するので、試料液量が少ないケースでの標準添加分析にも有効です。
2	イー・エス・アイ・ジャパン株式会社 矢内 順一 様 *同時展示製品あり	「レーザーアブレーションによる分析事例紹介」 New Wave Research UPシリーズとICP発光やICP-MSとを使った固体試料の直接分析の事例を発表します。環境、樹脂、生体細胞など複数事例を提示します。
3	マイルストーンゼネラル株式会社 金子 直樹 様 *同時展示製品あり	「マイクロ波前処理装置 ETHOS 1 のご紹介」 マイクロ波試料前処理装置 ETHOS 1 による AAS, ICP-AES, ICP-MS のための前処理技術をご提案するとともに、酸分解/溶媒抽出/アルカリ溶融など幅広い分野でのアプリケーション事例を紹介いたします。
4	株式会社エス・ティ・ジャパン 阿部 正昭 様 *同時展示製品あり	「プラズマ分光分析用高性能ネブライザー (AIFシリーズ) の紹介」 AIFシリーズは中心管可変式の三重管構造同軸型ネブライザーです。塩化ナトリウム飽和溶液の連続噴霧でも目詰りしない高塩濃度 (TDS) 耐性を持ち、セミマイクロ・ナノLC、CEとの接続に対応します。
5	住友精化株式会社 西口 講平 様 株式会社ジェイ・サイエンス・ラボ 宇谷 啓介 様 *同時展示製品あり	「ガスコンバータを用いる、レーザーアブレーションICP-MS法の紹介」 考古学試料などのようにサンプルの薄片を作製することが出来ない試料でも、ガスコンバータを用いれば、大気雰囲気下で直接レーザーアブレーションを行った後、ICP-MSを用いて測定することが出来ます。その他、応用例を紹介いたします。
6	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) アプリケーション部 エレメンタルグループ	「グロー放電質量分析計 ELEMENT GD のアプリケーションご紹介」 グロー放電質量分析計 ELEMENT GD は、導電性の固体を直接分析でき、主成分から微量不純物までを同時に検出します。装置の性能上の進展と、最新のアプリケーション例を紹介いたします。
7	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) アプリケーション部 エレメンタルグループ	「ハイスループット導入系を用いた ICP-MS による高マトリックス試料の迅速分析」 ICP-MS 分析による Ar ガスの消費やメンテナンス頻度を低減するため、ハイスループット導入系 SC-FAST システムを用いて迅速分析を行いました。高マトリックス試料の分析精度や従来の導入システムとの比較を試みたので紹介します。
8	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) アプリケーション部 エレメンタルグループ	「レーザーアブレーション ICP-MS を用いた固体試料の迅速分析例」 レーザーアブレーションを組み合わせた ICP-MS による、固体試料の分析事例を紹介いたします。試料前処理なしで多元素迅速分析ができるため、ポリマー・セラミックス等の材料評価や、科学捜査の指紋分析など、応用範囲の広い手法です。
9	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) アプリケーション部 エレメンタルグループ	「ICP 発光分光分析装置 iCAP 6000 シリーズの生産性向上とコスト削減」 iCAP 6000 シリーズの分析の生産性を向上する様々な機能やコストパフォーマンスについて、実例をあげて紹介します。また、昨年登場した iCAP 6200 と原子吸光やシーケンシャル ICP を、性能・試料処理能力・コスト面で比較します。
10	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) アプリケーション部 エレメンタルグループ	「原子吸光分析装置 iCE 3000 シリーズによる食品分析例」 原子吸光による食品中のミネラルや微量有害金属元素の分析例、フレイム・ファーンネス自動分析の例を紹介いたします。
11	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) アプリケーション部 クロマトグラフィグループ	「LC/MS/MS を用いた水質規制農薬の一斉分析」 水質管理目標設定項目の見直しにより、新たに、フィプロニル、フェンチオン (MPP) とその酸化物が項目に追加されました。今回はそれらの農薬を含め、別添方法 18 に示されている農薬について LC/MS/MS による一斉分析を検討したので紹介します。
12	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) アプリケーション部 モレキュラーグループ	「顕微ラマンによる太陽電池用微結晶シリコンとアモルファスシリコンの分析」 ラマンは化学物質の結晶状態に敏感な分光手法です。新エネルギーとして期待される太陽電池の内、薄膜型やハイブリッド型で用いられる微結晶シリコンとアモルファスシリコンの分析例を紹介いたします。
13	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) アプリケーション部 モレキュラーグループ	「FT-IR によるバイオディーゼル燃料の分析法」 自動車燃料の石油依存脱却と CO <sub>2</sub> 排出量削減のために、EU や北米では軽油に混合するバイオディーゼル燃料の利用が促進されています。ASTM で規格化された FT-IR による軽油中のバイオディーゼル燃料のスクリーニング分析法を紹介いたします。
14	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) アプリケーション部 モレキュラーグループ	「X線光電子分光法 (XPS) の工業材料への応用」 XPS は固体極表面に存在する元素を特異的に分析可能で、同時に化学状態・結合状態に関する情報を取得可能です。発表では、XPS を用いた実際のアプリケーションデータを紹介し、XPS で特異的に得られる情報を詳細に解説すると同時に、2次元情報の取得例や深さ方向分析に関して解説予定です。

## 展示 14:55 ~ 15:40

西進商事株式会社 内田 良弘 様	「標準物質・標準溶液と試料前処理装置のご紹介」 元素分析に欠かせない標準物質や標準溶液の各種カタログおよび分析試料前処理用の凍結粉碎機を展示します。
サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) フードセーフティグループ	フードセーフティソリューションのご紹介
サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) ラボプロダクツ事業本部	Finnpipette, Nalgene ラボウェア、関連カタログのご紹介

※この他に、ポスター発表者(1~5番)の展示と、当社製品の原子吸光、ICP、ICP-MSのダミー展示も行います。

## 申込方法

### ●当社ウェブサイトよりお申し込みください。

<http://www.thermoscientific.jp/>

※トップページバナーをクリックしてください。  
※各会場とも定員になり次第、締め切らせていただきます。

### ●ファクスによるお申し込み

インターネットをご利用でない方は、ファクスにて以下の事項をご記入の上、お送り下さい。

FAX. 045-453-9110

タイトル:「エレメンタルセミナー申し込み」

- ご希望の会場(東京または大阪)
- 郵便番号、ご住所
- 勤務先(組織名、部署名)
- お名前、フリガナ
- TEL
- FAX

## 会場のご案内



### 東京会場

#### 御殿山ガーデン ホテルラフォーレ東京 B1F

〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-36  
<http://www.laforethotels.com/tokyo/index.html>

#### ●最寄駅

JR品川駅(高輪口)より五反田方向へ徒歩10分  
京浜急行・北品川駅より五反田方向へ徒歩3分  
※品川駅より御殿山ガーデン行き無料バスがあります。  
詳細はホテルウェブサイトよりご覧ください。



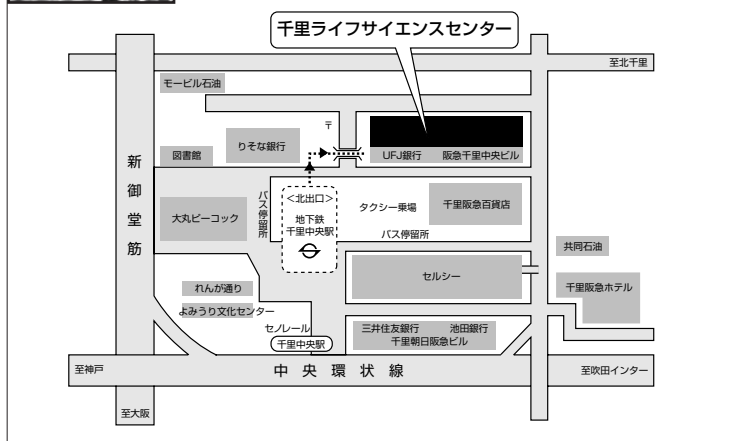
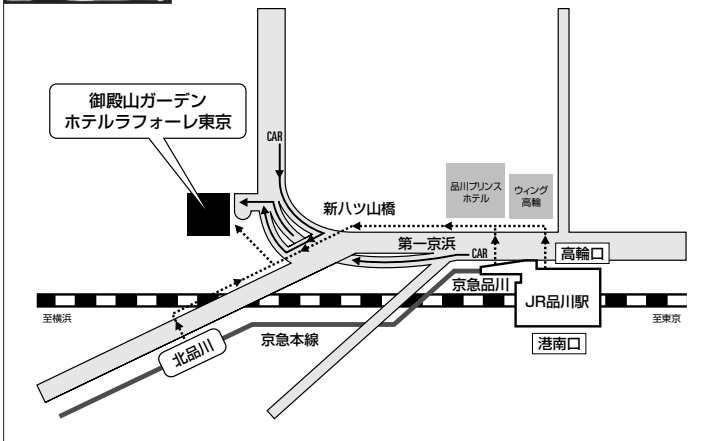
### 大阪会場

#### 千里ライフサイエンスセンター5F

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2  
<http://www.senrilc.co.jp>

#### ●最寄駅

地下鉄御堂筋線[千里中央駅]北出口すぐ



## お問い合わせ

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

マーケティングコミュニケーションズ

TEL : 045-453-9212 E-mail : info-jp@thermofisher.com

※このご案内は次のお客様を対象として、弊社の新製品、サービス、セミナーに関するお知らせのためにお送りしています。

- 過去に弊社製品をご購入、ご使用中のお客様、または新規購入をご検討中のお客様
- 過去の展示会や弊社セミナー等にご来場いただいたお客様

※今後、このような案内がご不要の場合、大変お手数ですがinfo-jp@thermofisher.com まで、「ES10」とご明記の上、お知らせくださいますようお願い申し上げます。

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

エレメンタル営業部

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 C棟2F ☎ 0120-753-670 Fax.0120-753-671  
〒561-0872 大阪府豊中市寺内2-4-1(緑地駅ビル)

**Thermo**  
SCIENTIFIC